予　算　要　求　資　料

令和５年度５月補正予算　　支出科目 款：衛生費　項：医務費　目：医療整備対策費

事 業 名 医療機関等物価高騰対策交付金

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

健康福祉部　医療整備課　医療企画係　電話番号：058-272-1111(内3235)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

１ 事 業 費　補正要求額　　1,486,796 千円　（現計予算額：　　0 千円）

＜財源内訳＞

区　分	事業費	財源内訳							
		国　庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財　産 収　入	寄附金	その他	県　債	一　般 財　源
現　計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補　正 要求額	1,486,796	0	0	0	0	0	0	0	1,486,796
決定額	555,488	555,488	0	0	0	0	0	0	0

２ 要 求 内 容

（１）要求の趣旨（現状と課題）

公的価格である診療報酬（療養費）を主な収入源としている医療機関等にあっては、物価高騰による負担増を診療報酬（療養費）に転嫁できないため、物価高騰は医療機関等の経営を圧迫している。医療機関等の経営が立ちいかなくなれば、新型コロナウイルス感染症対応をはじめ、県民への医療提供体制等に支障が出かねないことから、医療機関等の経営を速やかに支援するため支援金を支給する。

（２）事業内容

【支援対象事業者】・病院、有床診療所、無床診療所、歯科診療所、助産所
・施術所（あん摩マッサージ指圧・はり・きゅう及び柔道整復の施術を実施している施術所）

【支援額】病院及び有床診療所は基準単価×病床数、その他は定額

（３）県負担・補助率の考え方
基準単価×病床数又は定額による
（県10/10）

（４）類似事業の有無
医療機関光熱費高騰対策交付金（令和４年度）

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
交付金	1,351,632	医療機関等への支援金
委託料	135,164	支援金給付事務に係る経費
合計	1,486,796	

決定額の考え方
県負担は1/2とし、半年間分を計上します。
財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ
なし

（２）国・他県の状況
複数の自治体で類似事業を実施

（３）後年度の財政負担
なし

（４）事業主体及びその妥当性
医療機関等の経営が立ちいかなくなれば、新型コロナウイルス感染症対応をはじめ、県民への医療提供体制等に支障が出かねないことから、県が支援を行うことは妥当である。

事　業　評　価　調　書（県単独補助金除く）

□	新規要求事業
■	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
　物価高騰の影響を受ける医療機関等に対し、継続的な経営に支障が生じないよう支援する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前（R ）	R2年度実績	R3年度目標	R4年度目標	終期目標（R ）	達成率
①						
②						

〇指標を設定することができない場合の理由

緊急的に行う支援であるため、指標設定は困難

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	指標①　目標：____　実績：____　達成率：____％
令和4年度	指標①　目標：____　実績：____　達成率：____％

２ 事業の評価と課題

（事業の評価）

・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） ３：増加している ２：横ばい １：減少している ０：ほとんどない	
（評価） ３	物価高騰により、医療機関等の経営が圧迫されているが、原因は社会情勢によるものであり、公的支援の必要性は高い。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ３：期待以上の成果あり ２：期待どおりの成果あり １：期待どおりの成果が得られていない ０：ほとんど成果が得られていない	
（評価）	
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ２：上がっている １：横ばい ０：下がっている	
（評価）	

（今後の課題）

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

（次年度の方向性）

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 単年度事業

（他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果）

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	